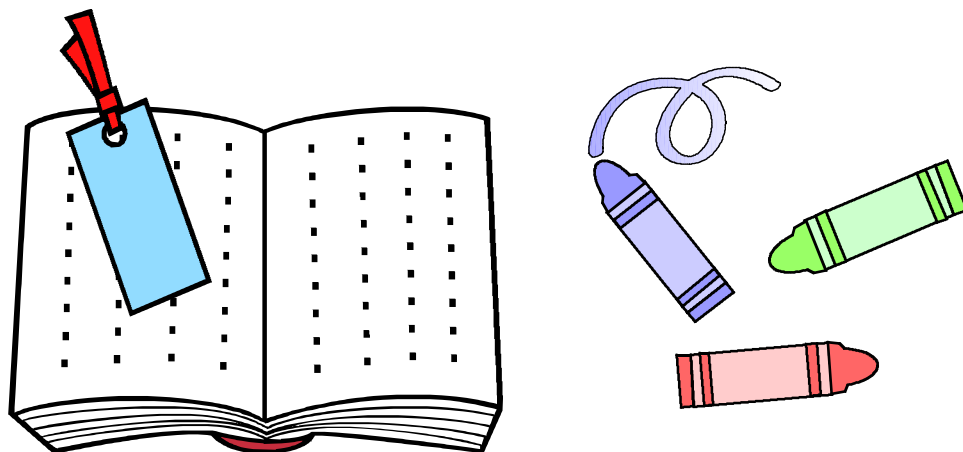


「家庭学習のすすめ」



《保護者の皆様へ》

※家庭学習は、日本だけでなくどこの国でも、たいていは「宿題」というやり方で教師が子ども達に課しています。それは、宿題であれ、子ども本人の自発的学習であれ、家庭学習は子ども達にとって絶対必要なものだからです。

では、なぜ宿題は必要なのでしょう？それはあとから述べますが、家庭学習にはさまざまな「教育的な効果」が期待できるからです。

そこで大志小学校では、これまで以上に家庭学習（宿題）に力を入れていくことを全職員で確認し合い、このたび「家庭学習のすすめ」を作成しました。

つきましては、この「家庭学習のすすめ」をよく読まれて、家庭学習（宿題）に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、お子さんにも同様の「家庭学習のすすめ」を配っていますので、お子さんの勉強机の近くに張っていただきますようお願いします。

平成22年4月27日

大志小学校

校長 中島安行

最後のページに、児童用があります。

1 家庭学習の5つの効果

家庭学習はなぜ必要なのでしょう？それは、家庭学習には次のような5つの教育的効果が期待できるからです。

習ったことを忘れない

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、学校だけの学習ではすぐ忘れてなかなか習熟・定着ができません。学校で習ったことを、家庭でも繰り返し毎日練習することが何よりも大切です。

② 脳が発達する

読み、書き、計算などの反復練習を続けることにより脳が活性化する、と言われていいます。最近では、脳の老化を防ぐために、子どもだけでなく大人でも声を出して読んだり、計算問題をしたりすることがちょっとしたブームにさえなっています。脳は筋肉と同じで、鍛えれば鍛えるほど発達する、とも言われます。小学生のうちからどしどし脳を鍛えさせましょう。

③ 学ぶ習慣と喜びが身につく

毎日欠かさず家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣と学ぶ楽しさや喜びを身につけるようになります。毎日続けることにより、勉強することが面倒ではなく、やがて、ごくあたりまえの基本的な生活習慣になります。したがって、低学年のうちから毎日欠かさず（1日も休まず）家庭学習をすることが大切です。



④ テレビに負けない子になる

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームです。テレビやゲームに毎日2時間以上も時間を費やしている子は、一般に本を読むのが苦手で、勉強が嫌いです。当然、学力は伸びません。また、人をバカにしたり、暴力をふるったり、弱い者をいじめたり、人を殺したりする画像は、子ども達に正邪善悪についての価値判断を狂わせてしまいます。テレビなどの誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力も養うことができます。

テレビやゲームに打ち勝つためには、本人はもとより家族みんなの協力が不可欠であることは言うまでもありません。大志小では、今年度月に1回「ノーテレビ・ノーゲームデー」に取り組むことにしました。ぜひ家族全員で「ノーテレビ・ノーゲームデー」に積極的に取り組みましょう。

⑤ 家族のふれあいができる

子どもが本を読んでいる時そばで聞いてあげる、子どもが勉強が分からない時教えたり調べたりしてあげる、など家庭学習をしている子どもに親が関わることにより、家族のふれあい（コミュニケーション）ができます。低学年の子どもには親が本を読んであげたり、一緒に読書をしたりする（親子読書）のもいいことです。

家族のふれあいの機会が増えることにより、子どもが心身ともに健康に育ち、自信とやる気を深め、しいては学力も伸びていきます。



2 保護者をお願いしたい5つのこと

前述のとおり、家庭学習は5つの効果が期待できます。しかし、効果が上がるかどうかは親の姿勢いかにかかってきます。子どものやる気を出すようなはたらきかけをお願いします。

① 家庭学習は、毎日させましょう

学校では、各学年に応じた家庭学習（宿題）を毎日出しています。学校が休みの日でも例外ではありません。それは、家庭学習はとにかく毎日続けることが大切だからです。しかしながら、休日にスポーツをしたり遠出をしたりして疲れて家庭学習どころではない場合もあるかと思えます。その場合は、スポーツや遠出をする前に家庭学習を済ませておくのも一つの方法でしょう。また、休日に疲れのないような過ごし方を家族で話し合い、実行するのもいいかと思えます。

② 家庭学習は、短時間で集中してさせましょう

学力を伸ばすためには、ふつう、1時間も2時間も長く勉強させたらいいと思いがちです。しかし、1日や2日ぐらいなら、なんとか勉強に集中しますが、ずっと毎日長時間やらせていると、知らず知らずのうちに勉強大嫌いな子どもになっていきます。短時間で集中して勉強することが長続きのこつです。だらだら長くやっても、体も頭も疲れるだけです。

③ 子どもが家庭学習をしている時は、テレビを消しましょう

テレビを見ながらの勉強はもちろんいけません。テレビの音が聞こえるような環境では子どもは集中できません。もし、テレビの音が聞こえるようでしたら、テレビを消しましょう。静かに学習できる環境を作ってあげるのは親の役目です。

④ 子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりしてあげましょう。

親や教師が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲を高めることができます。反対に、親が口うるさく強制したり、間違いをきつくとがめたりすると逆効果になります。

⑤ 生活のリズムを整えさせましょう

家庭学習を毎日決まった時間に行うためには、家庭での生活のリズムを整えることが大切です。「生活のリズムを整えることが学力向上につながる」ことは昨年度も学校だよりなどで何度もお話ししてきました。

「早寝、早起き、朝ご飯」は、生活リズムの大原則です。学校でも家庭でも生き生き元気に学習に取り組むために、ぜひ早く寝せ、早く起こし、朝ご飯をしっかりとらせましょう。

就寝時間は、それぞれの家庭の事情があるかもしれませんが、7時間以上の睡眠時間はぜひ確保したいものです。

児童用は、次のページにあります。



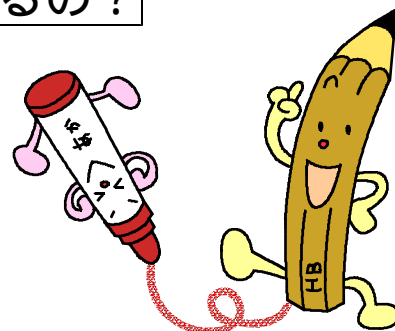
規則正しい生活習慣こそ学習する土台となるのです。まずは「早寝、早起き、朝ご飯」をしっかりとさせましょう。

平成22年度

平成22年度 『家庭学習』のすすめ (児童用) 大志小学校

家庭学習をすると、どんないいことがあるの？

- ① 学校でならったことがわすれにくくなります。
- ② 本読み、漢字、計算がとくになります。
- ③ 勉強がすきになり、言われなくても、すすんで勉強できるようになります。
- ④ 集中力がつき、がまんづよい子になります。
- ⑤ 音読を聞いてもらったりすることで、家族のふれあいができます。

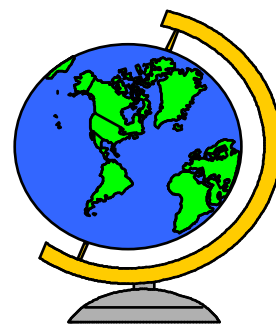


どんな勉強をしたらいいの？

- ・ 1, 2年生のうち、先生からだされた「宿題」をきちんとしましょう。
- ・ 3年生からは、「宿題」だけでなく、「自主学習」にもとりくんでみましょう。

「自主学習」って何のこと？

- ・ 先生からだされる「宿題」とちがって、自分でかんがえた勉強をすすんですることを「自主学習」といいます。
- ・ 「自主学習」では、つぎのことに挑戦するといいでしょう。
 - ① その日に学校で勉強したことの復習。
 - ② 自分の興味や関心のあること。
 - ③ 自分の苦手なことなど。
- ・ どんな「自主学習」をしたらよいかわからない人は、担任の先生に相談してきめましょう。



家庭学習で注意することは、どんなこと？

- ① とにかく毎日つづけることがたいせつです。
- ② 何時から何時まで勉強するかを決めておきましょう。
- ③ テレビや音楽を消して、集中して勉強しましょう。
- ④ お菓子を食べながらするも、やめましょう。
- ⑤ 正しい姿勢で、ていねいな文字で書きましょう。

